

第 62 回 神奈川県アイスホッケー選手権 兼 第 70 回国民体育大会神奈川県予選会 要項

大会役員

会長	藤木 幸太				
大会委員長	柏木 満				
競技委員長	根本 進				
大会役員	飯田 松男	石田 淳	石山 卓男	伊藤 一	岩崎 伸一
	金子 精司	菊地 拓海	佐々木 暁	三辺 武幸	田中 哲治
	谷口 泰久	中嶋 寛	西村 三雄	長谷川 宜彦	松田 圭介
	水原 健司	宮本 淳平	吉田 見登留		

大会幹事チーム ソニーアイスホッケー部 富士通 RED BULLETS YOKOHAMA BAY BLUES

レフェリー委員長 吉田 見登留

レフェリー団	有田 沙代	有田 典生	安藤 仁詩	生島 喜大	石山 卓男
	奥山 美紀	鍵和田 和明	鎌田 司	上山 洋	河久保 昌利
	坂田 敏博	佐々木 暁	佐藤 茂之	高松 正樹	瀧澤 洋平
	田中 哲治	田中 俊久	戸高 英明	中島 透	中村 秀岳
	中山 茂	生田目 健次	橋本 昌伸	長谷川 宜彦	畑田 進
	畑中 和幸	平田 三元	廣瀬 健	本田 直人	八重川 隆
	山本 秀彦	吉田 俊一			
	他、日ア連公認レフェリー				

大会医師 三辺 武幸(県連医事委員長)
救急指定病院 重傷の場合は 119 番すること
軽傷の場合:(24 時間受付・年中無休)
横浜市救急医療情報センター TEL 045(201)1199

[実施要綱]

1. 名称: 第 62 回 神奈川県アイスホッケー選手権 兼 第 70 回国民体育大会神奈川県予選会
2. 主催: 神奈川県アイスホッケー連盟
3. 会期: 2014 年 11 月 22 日～ 2015 年 3 月 31 日(予定)
4. 会場: 新横浜スケートセンター
5. 参加資格: 神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHF と呼ぶ)【一般】に 2014 年度登録をしているチーム及び選手と役員。同種に登録されたチームはすべて参加しなければならない。
注1. 大会参加チームの選手・役員は「日ア連 Face-Off システム」により、2014 年 11 月 10 日までに県連宛到達したものを有効とし、大会出場を認める。
注2. 大会参加費未納及び監督会議欠席チームは本大会については失格とする。失格となったチームは第 71 回国体予選会に参加資格を有しない。
注3. 県内【一般】登録チームに所属する選手について、県内チーム間の大会期間中での移籍は原則認めない。
注4. 審議委員会に於いて出場停止等処分を受けたチームに所属した者は、たとえ他チームに移籍をしても当該処分が終了するまでは、同処分が継承される。
6. 国体代表選手選抜方法
この大会に出場できても国体の参加資格にあてはまらない選手は、県代表チームに選抜されない。
国体選手選考委員会を設置し、本大会及びトライアウトの結果により県代表選手を決定する。

7. 参加チーム:

部	参加チーム		
1	ケッターズ	セントラルクリニック・サンダーバード	チームハセガワ B
	神奈川メープルリーフ A	荒鷲クラブ	NEC-A
	ソニーアイスホッケー部	Mavericks	
2	富士通 RED BULLETS	イワトビペンギンズ	チームハセガワ A
	JINXS	YOKOHAMA BAY BLUES	B.B.KINGS
	上條会 Mao's	相模原市役所アイスホッケー部	
3	スーパー・ケッターズ	常盤台ユベントス	荒鷲 Flyers
	全日空アイスホッケー部	Hama Fusions	JOKERS' 99
	横浜ガルズ	スーパーイーグルス	
4	リンクス	ロックホッパーペンギンズ	ENEOS
	慶應スパイラル	箱根クラブ	WAVES
	YOKOHAMA BAY JAZZ	日産自動車ピストンズ	
5	サザンレッドウイングス	Big Buzz	ハマクラブ B
	NEC-B	慶應 ELK	神奈川メープルリーフ B
	チームハセガワ Z		

8. グループ分け:

- 各部は第 61 回神奈川選手権兼第 69 回国体予選会の結果による。
- 次回第 63 回神奈川県アイスホッケー選手権のグループ分けは第 62 回神奈川県アイスホッケー選手権の成績により、各部上位1チームと下位1チームを入替戦なしで入れ替える。
- 第 63 回神奈川県アイスホッケー選手権で新加入チームが生じた場合は、1 部から 4 部までの間では各部 8 チームの編成を維持し、5 部以下で調整をする。
- 第 62 回神奈川県アイスホッケー選手権に出場したチームで、第 63 回神奈川県アイスホッケー選手権に出場しない(あるいは出来ない)チームが生じた場合のグループ分けは、各部入替を実施後上記 c. の編成となるように調整する。
- 審議委員会の処分による出場停止チームは、第 62 回神奈川県アイスホッケー選手権の成績により、次回第 63 回神奈川県アイスホッケー選手権で所属する部の最下位とし、第 63 回神奈川県アイスホッケー選手権では自動的に降格となり、グループ分けは前記 c. の編成となるように調整する。
- 新加入チームが生じた場合は最下位の部より参加とする。

9. 参加費:

別途県連 HP に掲載する
振込先: 横浜銀行 本店営業部
口座番号: 普通 6097936
口座名称: 神奈川県アイスホッケー連盟 会計 長谷川 宜彦
振込口座は統一(登録費・大会費全て)されています。

- 注1.** 大会参加費未納及び監督会議欠席チームは本大会については失格とする。
注2. 注 1. により失格となったチームは第 70 回国体予選会に参加資格を有しない。
注3. 大会参加申し込み以降、棄権、失格、出場停止、試合放棄などで予定された試合を行えなくしたチームは参加費に加え当該試合リンク代の 1/2 を大会会計に補填すること。
注4. 上記に於けるリンク利用権は、勝利チームが有する。
注5. 不参加の連絡は幹事会(後記)まで連絡すること。

10. 競技規則: 神奈川県アイスホッケー選手権の定めるローカル・ルールを除いては原則として IIHF 公式規則で行う。

補助規則 (ローカル・ルール)

- a. 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、そのチームは不戦敗(スコアは 0 対 15)とする。
この場合、審議委員会により罰則を科す。
- b. 出場資格があるにも拘らずオールメンバー表に記載されていない選手が出場した場合、関係した得点は無効とする。ペナルティは課さない。当該選手は残り時間出場できない。
- c. ベンチには、GK2 名・プレーヤー20 名の計 22 名、役員 6 名迄入ることができる。
- d. 試合開始整列時にプレーヤー6 名、役員 1 名を最低人数とし、これに満たないチームは試合放棄とみなして不戦敗(スコアは 0-15)とする。また試合中にけがやペナルティなどで、正規の人数をリンク上にそろえることができなくなったチームはその時点で試合放棄とする。
- e. ユニホームを着用しない役員名を当該試合のメンバー表に記載し、試合開始から終了までの間、常時ベンチ入りさせること。
- f. ベンチは試合日程表の左側チームが本部席より見て左側とし、仮ホームチームとしパックスによりホームを決定する。
- g. 1974 年 12 月 31 日以降に生まれた選手はバイザーを着用し、マウスガードを使用しなければならない。バイザーは、目及び鼻が全て覆われるものでなければならない。(IIHF ルール 304c1.2) 該当選手は、「V」の表示をプログラムに明記する。
バイザーは無色透明なものとし、それ以外は使用出来ない。
- h. 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。
- i. 選手は背中に加え、両袖にも番号(概ね高さ 10cm)がついたジャージを着用しなければならない。
- j. 血液感染予防のため、各チーム予備のユニホームを用意する事が望まれる。
- k. ユニホームの色が同系色で、ペナルティのコールを誤る可能性があるとしてレフェリーが判断した場合、レフェリーの指示に従い、アウェイチーム(ランキング下位)のチームがベストを着用する。
- l. 3 回目のペナルティを犯した選手はその試合の残り時間をゲームアウトとする。
ペナルティのカウントは、以下のとおりとする。
①INTRF、HOOK、TRIP、SLASH などの単独のマイナー(2 分)は、それぞれカウント 1。
②HI-ST(2+2 分)、キーパーチャージ CHARG(2+2 分)、ROUGH(2+2 分)などのダブルマイナーは、カウント 2。
③CHE-B、CHE-H などのマイナー+自動的な MISC(2+10 分)は、カウント 1。(MISC の 10 分は自動的に付加されるもののため)
④ABUSE、UN-SP、EQ-INF などの MISC(10 分)は、カウント 1。
⑤ベンチマイナーはカウントしない。(PB に入る履行者は本人のペナルティではないため)
- m. ヘルメットは、ヘルメットの下端と眉毛との間に指 1 本分以上のゆとりがないように着用しなければならない。また、あごひもとあごの間のゆとりも、指 1 本分のみとする。(IIHF ルール 223c)
- n. 氷上にいるキャプテン、2 名以内のキャプテン代行のみが、ルール解釈に関する問題について、レフェリーと話をすることができる。(IIHF ルール 201c)
キャプテンまたはキャプテン代行が氷上にいない場合、いずれもレフェリーからの要請がない限り、レフェリーと討議するためにベンチから氷上に出ることはできない。
- o. 4 部以下の試合に関しては、ハイブリッドアイシングは適用せず、オートマチックアイシングを適用する。

11. 競技時間:

- a. 練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、インターバル 3 分で行う。ただし、ケガなどにより予想外のタイムロスが発生した場合、SV の判断により第 3 ピリオドの試合時間をロス込みにする場合がある。第 3 ピリオド終了時同点の場合は、GWS(サドンデス方式)にて勝敗を決定する
- b. タイムアウトは無し。
- c. オールメンバー表は試合開始 20 分前までにオフィシャルへ提出すること。

12. 順位:

- a. トーナメント制とするため、各トーナメントの勝者同士、敗者同士での対戦を行い、各部全てのチームに順位がつくようにする。
- b. トーナメント組み合わせは、各部 1 位対 8 位、2 位対 7 位、3 位対 6 位、4 位対 5 位とする。なお、1 位と 2 位は逆のブロックに配置する。

13. 第 3 回日ア連会長杯関東ブロック予選会(仮称)参加資格:

1 部リーグ優勝チームには 2014 年度に開催される第 3 回日ア連会長杯関東ブロック予選会(仮称)の参加資格を付与する。

14. オフィシャル当番:

オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任持って終了させる。オフィシャル当番はスケート靴持参(4 名以上)で試合開始 30 分前に集合し、準備を開始すること。オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかったと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。
また、試合終了後 10 分以内にゲームシートを完成させること。

15. レフェリー:

全ての試合についてレフェリーは 3 人制で行うことを原則とする。

1 部から 3 部はレフェリー団から 3 名を派遣する。

4 部から 5 部はレフェリー団からレフェリー 1 名及びラインズマン 1 名を派遣し、オフィシャル担当チームからラインズマン 1 名を出し、3 人制とする。

16. スーパーバイザー:

- a. ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームにつき 1 名ずつ、スーパーバイザーを置く。
- b. スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシャルと協調あるいは指示を出しその任に当たる。
- c. スーパーバイザーは、神奈川県アイスホッケー選手権幹事チームから派遣する。

17. 試合中の傷害

試合中に傷害を負った選手は所定の用紙を持ってスーパーバイザーに届け出ること。

傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。

試合中に傷害を負った選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。

また、スポーツ傷害保険は各チーム個別に任意で付保すること。

18. 大会幹事:

神奈川県アイスホッケー選手権幹事チーム当番表(県連 HP)参照

次回、第 63 回神奈川県アイスホッケー選手権幹事チームは

<★>上條会 Mao's

全日空アイスホッケー部

シルバーボックス

(★は主幹事チーム)とする。

第 63 回神奈川県アイスホッケー選手権以降は、大会幹事チーム当番表の順位で当番制とし、3 チームが幹事としてリーグ運営を行う。

新規加入チームがあった場合は、初参加したリーグの次回リーグより、1 チームずつ当番に繰入れ、その後の順位を 1 つずつ繰り下げる。

リーグを脱退したチームがあった場合は順次繰上げとする。

復帰したチームがあった場合、過去の履歴を参考に次回以降組み入れる。

19. その他:

要綱に記載されていない不測の事態が発生した場合は、幹事会にて別途協議をする。

20. 懲戒委員会： 委員長： 柏木 満
委員： 中嶋 寛 根本 進 伊藤 一 吉田 見登留

21. 運営幹事連絡先： <アドレス：「league62」の後ろに「@kihf.net」をつける>
★主幹事チーム： ソニーアイスホッケー部
幹事チーム： 富士通 RED BULLETS
幹事チーム： YOKOHAMA BAY BLUES

22. 登録・出場資格に関する問い合わせ先：
伊藤 一 <アドレス：「info」の後ろに「@kihf.net」をつける>

以 上